

<1月～3月のイベント予定> (協会主催・後援・加盟団体主催、出演等)

※協会の主催・後援イベントや加盟団体の活動を中心に掲載しました。詳細は、協会ホームページおよび「Fax メール通信」をご参照下さい。

1月19日、26日、2月2日、16日、23日(土曜日) 第13回八丈島歴史セミナー
七島信用組合2階ホール ※23日のみ野外

2月10日(日) 八丈島文化フェスティバル 舞台部門 多目的ホール「おじゃれ」
※作品展部門 2月9日(土)～11日(月) 町民ギャラリー
◆手芸ワークショップ11日(月) 商工会研修室

2月21日(木)22日(金) 第76回八丈島民大学講座「海底散歩 世界が注目する伊豆小笠原の海」
七島信用組合2階ホール

3月 9日(土) あびの実映画会「グレイテスト・ショーマン」 多目的ホールおじゃれ
3月17日(日) ミュージックスクールWe 発表会 多目的ホールおじゃれ

八丈町文化功労表彰を受けて

＝豊かな地域文化活動向上を期待された協会への表彰＝

内山江差夫 (前協会会長)



10月20日私は平成30年度八丈町功労者として表彰式に出席しました。被表彰の皆さんは町を代表する各分野の実績と功績を誇る方々で、場違いのようにポツリと緊張して座っていました。八丈町で初めての文化功労表彰であるとお聞きしていたこともあり、表彰式には特別の思いを持って出席しました。永い八丈町の町史の中で、初めて「文化功労」が認められた記念日でした。このことを誇りに思い、これまで島の文化を創りあげ、長年にわたり困難な活動を惜しみなく頑張ってきた、たくさんの文化活動関係者に贈られた共通のご褒美だと、とにかく温かく嬉しい気持ちでした。

表彰状に、「文化協会の創立を始め八丈町の文化向上に寄与され～云々」とありました。文化協会設立は体育協会等に遅れること40年、設立まで35年以上を費やした根気と忍耐の活動でしたが、これも島に豊かな文化環境を創ろうという皆さんの要求と日常活動という実践があつての協会創立でした。皆さんと一緒した様々な活動が思い起こされますが、一端に触れてみたいと思います。

八丈島文化フェスを立ち上げ今年で30周年になります。自主的な手づくり祭典として島の行事に成長し、回を重ねる毎に賑やかになり、30年間に60余団体が活動するまでになりました。団体の皆さんが協会創立の大きな力になり、多くが協会に加入されています。また協会の前身「八丈島文化団体の会」を創り、文化団体の要求をまとめて「文化ホール建設」を要望、19年かかってホールが実現しました。さらに協会主催・後援の様々なイベント充実はもとより、文化環境づくり、文化を通じた町づくり、島外への発信や協力・協働などにも、年々取り組みが強まっていて、協会の活動の興隆に嬉しい期待が広がります。

でも、今までの活動は、文化協会に要請されている活動のほんの入口・序の口です。これからの島づくりで本領発揮をするための基本が何とか形づくられたにすぎません。東京諸島のみならず全国の小規模自治体の中でも、文化協会があることや立派な文化ホールがあることを誇ってよいわが島です。これもみんなの活動で実現させてきました。50年・100年後の八丈島がどんな文化立島になっているか、未来に夢を持たせてもらった表彰式でした。

活動はいつも第一歩から始まります。島に「協会と行政と地域みんな」が三位一体となった文化協会の立派な城を築いて頂きたいと思いながら、限らない前途に期待の夢ひらく文化協会です。

八丈島文化協会 会報 第27号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2019年1月8日 発行

2019年亥年 年頭のご挨拶



八丈島文化協会 会長 山下和彦

多彩なイベントを盛り上げていきましょう

新年明けましておめでとうございます。

元号が変わることになり、平成最後の年になりました。

文化協会は、大勢の方に入会いただき、各事業を開催しております。団体会員が33団体、個人会員が16人、賛助会員・賛助会員個人13人と、控えめに見ても600人以上の人になんかの関わり、お手伝い頂いている訳です。まずお礼申し上げます。また、それを支えています、理事、役員、事務局の皆様方、御協力ありがとうございます。

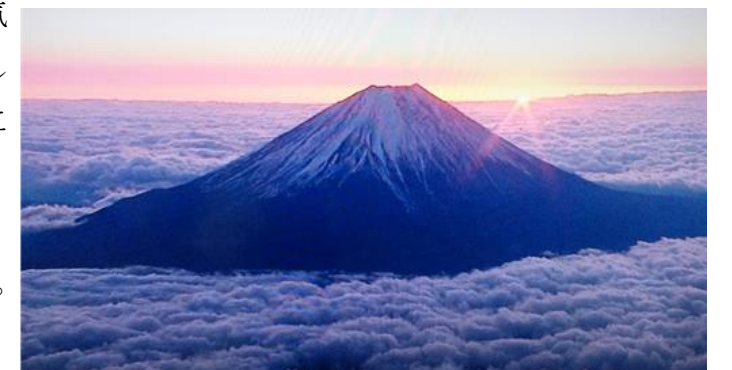
2019年は、文化協会発足から8年目になります。2月10日には第30回八丈島文化フェスティバル、2月21、22日には第76回八丈島民大学講座、年度明けて5月25日には第8回八丈島文化協会総会を予定させていただいております。

新年度になると、8回目のJAZZフェス、第8回芸能文化祭、第77、78回島民大学講座、第31回文化フェスティバル、あびの実の子供文化体験事業(無料舞台鑑賞など)、八丈小島体験事業などが開催される予定です。そして、島外から、「ひょっこりひょうたん島」で有名な「人形劇団ひとみ座」の八丈島公演の申し込みを受けています。是非、来島いただけるように、協力したいと思います。

さて、文化協会の会員交流会ですが、参加者が少なく気になっています。関係諸団

体の代表者ばかりでなく、会員誰でも気楽に参加してほしいです。いろんな話し合いの中から、今後の文化協会の運営に活かしていかなくてはならないものを、見つけていきたいと思っています。

今年1年、皆様のご協力をお願いします。



第6回八丈島芸能文化祭、好評のうちに無事終わる

11月17日に、第6回八丈島芸能文化祭が、6団体（八丈太鼓・月曜会、榎立踊り保存会、中之郷ヤトトンの会、八丈島連合婦人会、日本民謡・朝元会、八丈太鼓・よされ会）の出演で行われました。芸能文化祭も、それ以前の経過も踏まえて様々変遷を経て第6回を迎えています。ここ2年間はストーリー性を持たせるということに取り組んで来ました。その結果、一定の評価を得たものの、実行委員会や出演者の負担が大きくなり、継続実施することが難しいという事態も迎えました。そうした点を踏まえ、今年度は、原点に帰って、シンプルに八丈島の伝統芸能を楽しむ場にしようということで、取り組みを行って来ました。各地域の盆踊りを反映した内容にもなっていて、事後アンケートを見ますと、全体的には好評価になっています。

取り組みとしては、八丈島で活動している郷土芸能に関わりのある団体にアンケートをとり、その希望に基づいて、出演と演目を決めました。そして、アンケートによって出演団体・演目についての解説も行うようにしました。事後アンケートでは、全体として伝統芸能についての再評価といった積極的・好意的な意見が多かったのですが、プログラムが「島内向けの解説だった」という意見もありました。確かに、「八丈太鼓とは何か。ショメ節とはどういうものか」といった長く島に住んでいない人でも分かる説明があった方が良かったかな、と思いました。

アンケートの中には、「無料で実施すべき」という意見が幾つかありましたが、実情を述べさせていただければ、おじゃれホールの借用代や技術スタッフの費用、その他がかり、町の補助金や地域からの協賛金なども受けてはいますが、無料でできないという現実があることをお伝えしておきたいと思えます。郷土芸能の愛好者が好きでやっているということではなく、伝統芸能を継承・普及したいと考えて行っている行事でもありますので、本来は町がもっと財政的な支援をしてくれたらよいのには思えます。

来年度は、後継者育成を目指して、子どもたちが地域の芸能活動をしている団体で学んだものを発表できるような形にできたらと考えています。そのため、会場も八丈高校や公民館など小規模にし、専門的な技術スタッフでなくともできるような内容にしてゆきたいと考えています。

最後に、出演していただいた方々、ご来場いただいた方々、また、協賛などでご支援・ご協力いただいた多くの方々、まことにありがとうございました。

これからも「いつも文化の香りのする八丈島」を目指した取り組みを続けていきたいと考えております。皆様方の、八丈島芸能文化祭に今後とも変わらぬご厚情とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



よされ会/八丈太鼓と石投げ踊り



朝元会/春山節・八丈連分



榎立踊り保存会/ひっちょいさ(八木節)



山下巧実行委員長挨拶



司会/内山江差夫さん



中之郷ヤトトンの会/ヤトトン節



フィナーレ/出演者によるヤトトン総踊り



大活躍の黒子さん

第30回八丈島文化フェスティバルに向けて

来る平成最後の八丈島文化フェスティバルは、30回目を迎えます。

会場は八丈町多目的ホール「おじゃれ」にて舞台部門が開かれ、同じく町民ギャラリーでは「手芸」「切り絵」「陶芸」「キルト」「ガラス細工」「書道」「布絵本」などなど、展示が盛り沢山です。また、手芸ワークショップが、翌日（2月11日月曜日）に開催されるので、色々楽しめます。

第20回の文化フェスティバルは、平成21年に開催され、ゲストとして永六輔氏にお越しいただき、楽しいトークショーが開催されました。今回は初心に戻り手作りのフェスティバルを目指そうと、これまでに文フェスに関わった方々にお声がけをしております。

はたして、どなたにお越しいただけるのでしょうか？

レジェンドの方や結婚して赤ちゃんも生まれ、主婦業に専念しているママさんや婚活中の方々が、島外からも参加していただけるようです。

<舞台部門>

2月10日(日)

10時～18時

八丈町多目的ホールおじゃれ

<作品展部門>

2月9日(金)～11日(月)

9時～17時

町民ギャラリー

<手芸ワークショップ>

2月11日(月)

商工会館研修室(町庁舎内)

◎詳しくは「広報はちじょう」2月号の折り込み予定のプログラムをご覧ください。

第76回八丈島民大学講座 海底散歩 世界が注目する伊豆小笠原の海

潜水船“しんかい2000”や“しんかい6500”で観察した海底の地形・地質を、専門家の案内で体験的に学び、地震や火山噴火、海底資源など身のまわりの自然を多方面から理解するための講座を企画しました。

日時 2019年2月21日(木)・22日(金) 午後7時～8時30分

会場 七島信用組合八丈島支店 2階ホール

講師 東海大学海洋学部 坂本 泉 准教授 (海洋地質学)

内容 海底散歩 世界が注目する伊豆小笠原の海

第1日 ①海底の世界 ②海底を調べる方法、海底を調べるロボット達

③海底散歩 日本周辺の海底

第2日 ④海底散歩 伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島、伊豆小笠原周辺の海底

⑤海底に眠る宝物 ⑥世界が注目する伊豆小笠原の海底

参加費 無料 (賛助会費 1口=500円)

主催 八丈島文化協会 後援: 八丈町教育委員会 協賛: 七島信用組合

連絡先 八丈島大学講座運営委員会事務局

八丈町榎立163 携帯電話 090-8036-1826



山下和彦文化協会会長挨拶



佐藤誠教育長挨拶



オープニング/子ども太鼓



榎立踊り保存会/手踊りとショメ節



月曜会/八丈太鼓



中之郷ヤトトンの会/中之郷盆踊り



八丈島連合婦人会/八丈音頭